

2015年（平成27年）北海道山紀行



序章

・去年はもうこれで最後の北海道にしよう、前半は家内を連れての観光旅行にし、後半を一人で山を歩いて約1ヶ月間北海道を徘徊した。幸い天候にも恵まれ最後を締めくくるのに文句のない旅だった。しかし去年が最後ではなかった！

年が明けて夏が近づくと、北海道の山々が目の前に現れ、結局今年の夏も9回目の「北海道山紀行」に出かけてしまった。

・今年こそこれで最後にしよう、今までのおさらいをしながら北海道全土を一ヶ月間十分かけて回る計画を立てた。トップシーズンの夏休みを避けて出発は6月初旬、帰宅は7月中旬とし、花の多い6月に重点を置いた。

・行動計画、車の改装や食料の調達など事前準備も万全で、意気揚々として出かけた。
しかしここ数年の北海道の天候は、以前と比べてどうも不安定になっているような気がする。
今年は初日から雨の洗礼を受け、低温の日々が続いた。晴天の日でも15℃くらい、夕方から夜間は10~11℃という毎日で、寒くて車外での食事が出来ず車内の運転席で食事をする日々が続いたためいささかうんざりした。
・その寒さのためか、一週間たった時点で風邪をひいてしまった。いつもなら山に登り、温泉に浸かって良く寝れば、翌日には風邪はどこかへ消えているのだが、今年は寒さゆえか、治るどころかどんどん悪くなり、稚内で病院へ駆け込んだが治らず悪化するのみ。とうとう計画の半分以上を残して今年の山紀行続行を断念し帰宅することにした。
・一ヶ月たっぶりかけてのんびりと回ろうと思ったのにまことに残念無念！ フェリーから、離れ行く小樽港や周りの山々を眺めながら、無念の涙が溢れて止まらなかつた。

・結局こじらせた風邪は帰宅後も治らず、完治に一週間近くかかった。
今まで8年間の北海道山紀行で初めての経験であり、なぜこれほどまでに風邪がこじれたのかがさっぱりわからない。今年の誕生日で「後期高齢者」を迎えた我が身の体力の衰えが原因の一つではあると思うが、やはり低温続きの北海道の天候が主原因であったことは間違いないと思っている。

*今年で最後にしようと思っていた「北海道山紀行」がこんな形で終わってしまったので、何としても心残りである。当然来年のリベンジを考え始めている。

私を取り巻く諸々の環境、私の体力、それに走行距離20万kmにならんとしている愛車RAV4の調子次第である。

来年はちょうど10回目の北海道であり、ぜひ実現させたいと考えている。